

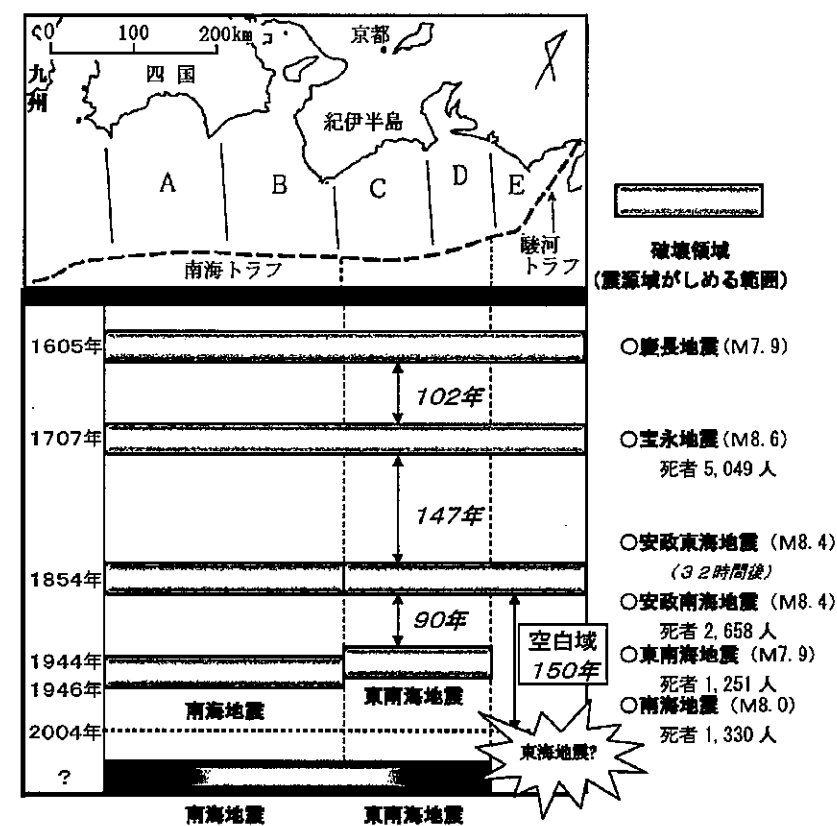
今後の想定地震

1. 主要想定地震の概要

内閣府・中央防災会議において想定されている、大規模地震を以下に示す。

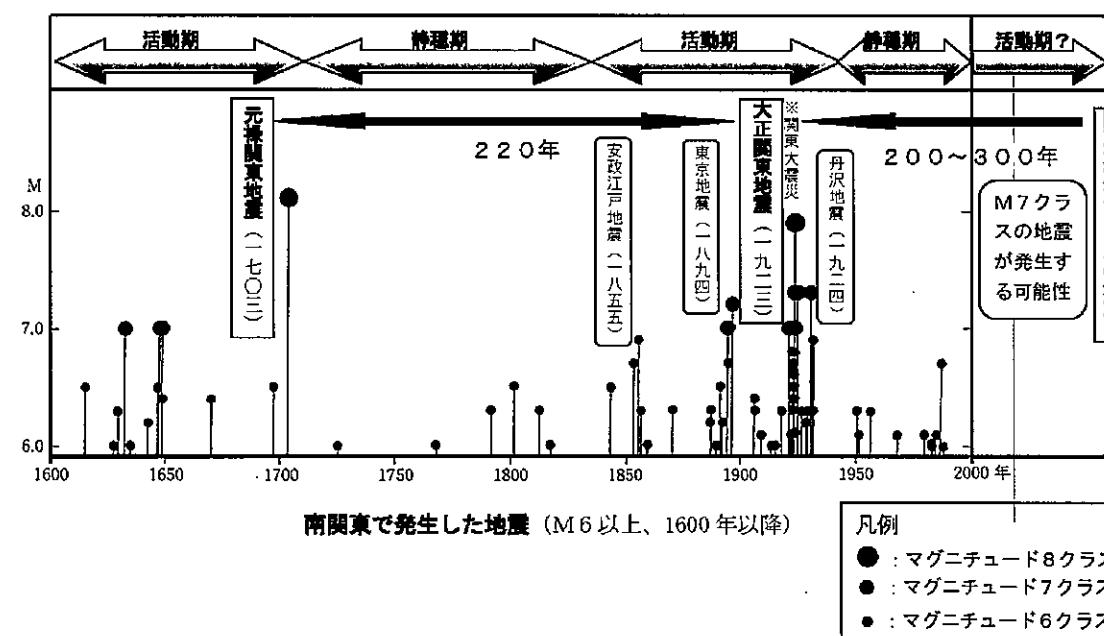
| No. | 大項目 | 中分類 | 対象とする地震 | |
|------|----------------------|---------------|--|--|
| 1-1 | 日本海溝・千島海溝周辺 海溝型地震 | | 択捉島沖の地震 | |
| 1-2 | | | 根室沖・釧路沖の地震 | |
| 1-3 | | | 色丹島沖の地震 | |
| 1-4 | | | 十勝沖の地震 | |
| 1-5 | | | 三陸沖北部の地震 | |
| 1-6 | | | 宮城県沖の地震 | |
| 2-1 | 首都圏直下地震 | プレート境界地震 | 東京湾北部地震 多摩地震 茨城県南部地震 | |
| 2-2 | | 地殻内の浅い地震 | 都心西部直下地震 都心東部直下地震 さいたま市直下地震 千葉市直下地震 川崎市直下地震 横浜市直下地震 立川市直下地震 羽田直下地震 市原市直下地震 成田直下地震 | |
| 2-3 | | | 活断層 M7.0 以上 | 関東平野北西縁断層帯地震 立川断層帯地震 伊勢原断層帯地震 神縄・国府津—松田断層帯地震 三浦断層群地震 |
| 2-4 | | | | |
| 2-5 | | | | |
| 2-6 | | | | |
| 2-7 | | | | |
| 2-8 | | | | |
| 2-9 | | | | |
| 2-10 | | | | |
| 2-11 | | | | |
| 2-12 | | | | |
| 2-13 | | | | |
| 2-14 | | | | |
| 2-15 | | | | |
| 2-16 | | | | |
| 2-17 | | | | |
| 2-18 | | | | |
| 3-1 | 東海地震 | | 東海地震 | |
| 4-1 | 東南海・南海地震 | | 組合せ① 東海+東南海+南海地震 | |
| 4-2 | | 組合せ② 東南海+南海地震 | | |
| 4-3 | | 組合せ③ 東海+東南海地震 | | |
| 4-4 | | 組合せ④ 東南海地震 | | |
| 4-5 | | 組合せ⑤ 南海地震 | | |

東海地震と東南海・南海地震



■首都直下地震の切迫性

南関東では、数百年間隔で発生する関東大地震クラスの地震の間に、マグニチュード7クラスの直下型地震が数回発生する。大都市直下で発せ下場合、多大な被害が生じる。



出典) 内閣府・中央防災会議 資料

1.1 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震

検討対象地震

大きな地震が繰り返し発生している領域を対象に

| 対象とする地震 | 地震動 | 津波 | 備考 |
|-------------|-----|----|-----------------|
| 択捉島沖の地震 | ○ | ○ | |
| 色丹島沖の地震 | ○ | ○ | |
| ◎根室沖・釧路沖の地震 | ○ | ○ | |
| 十勝沖・釧路沖の地震 | ○ | ○ | 地震動の震源は十勝沖のみ |
| 500年間隔地震* | | ○ | |
| 三陸沖北部の地震 | ○ | ○ | |
| ◎宮城県沖の地震 | ○ | ○ | 津波の断層は陸側と海溝側の連動 |
| 明治三陸地震 | | ○ | |

◎は発生の切迫性が高いと考えられる地震

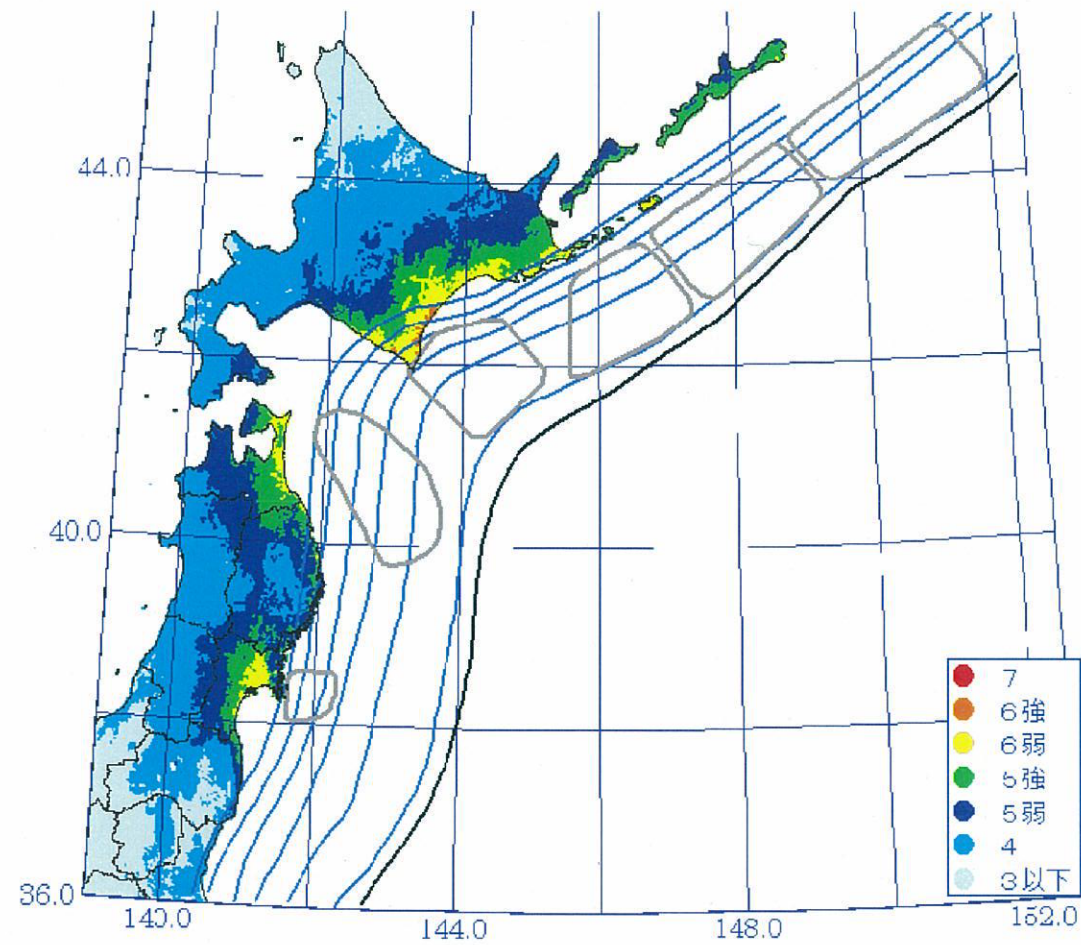
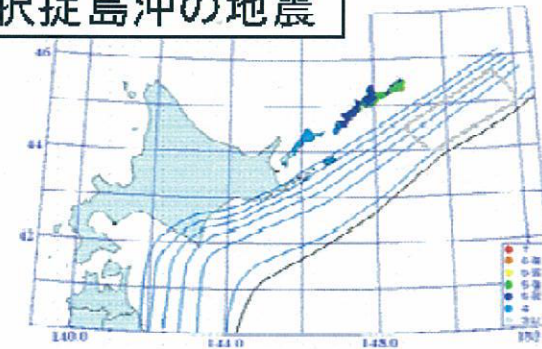


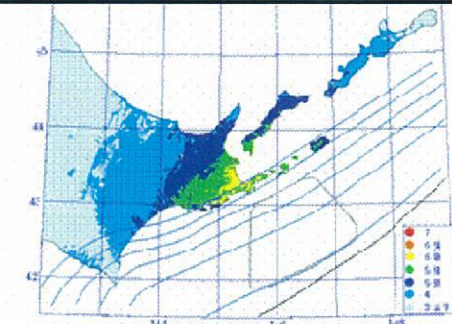
図 震度分布図（震度の最大を重ね合わせた図）

北海道日高、十勝地方の一部に震度6強、
北海道、青森県、宮城県の太平洋沿岸の一部に震度6弱

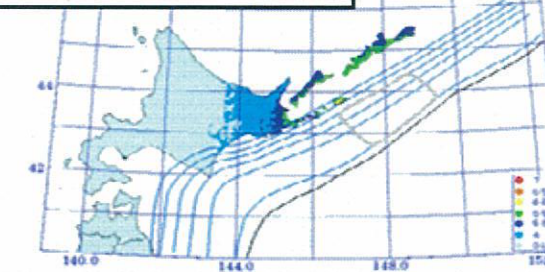
択捉島沖の地震



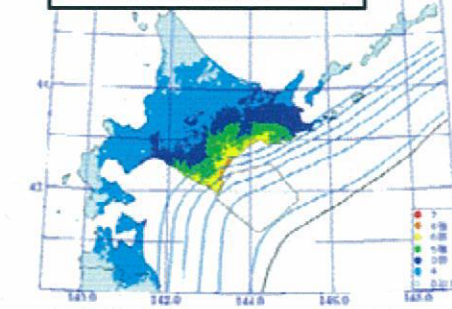
根室沖・釧路沖の地震



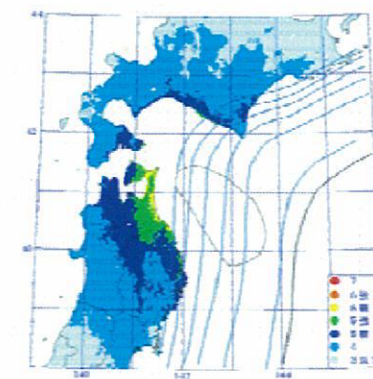
色丹島沖の地震



十勝沖の地震



三陸沖北部の地震



宮城県沖の地震

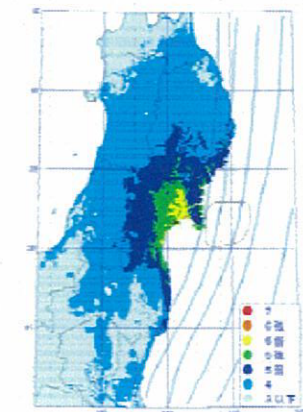


図 各震度分布図

出典) 内閣府・中央防災会議 資料

1.2 首都直下地震

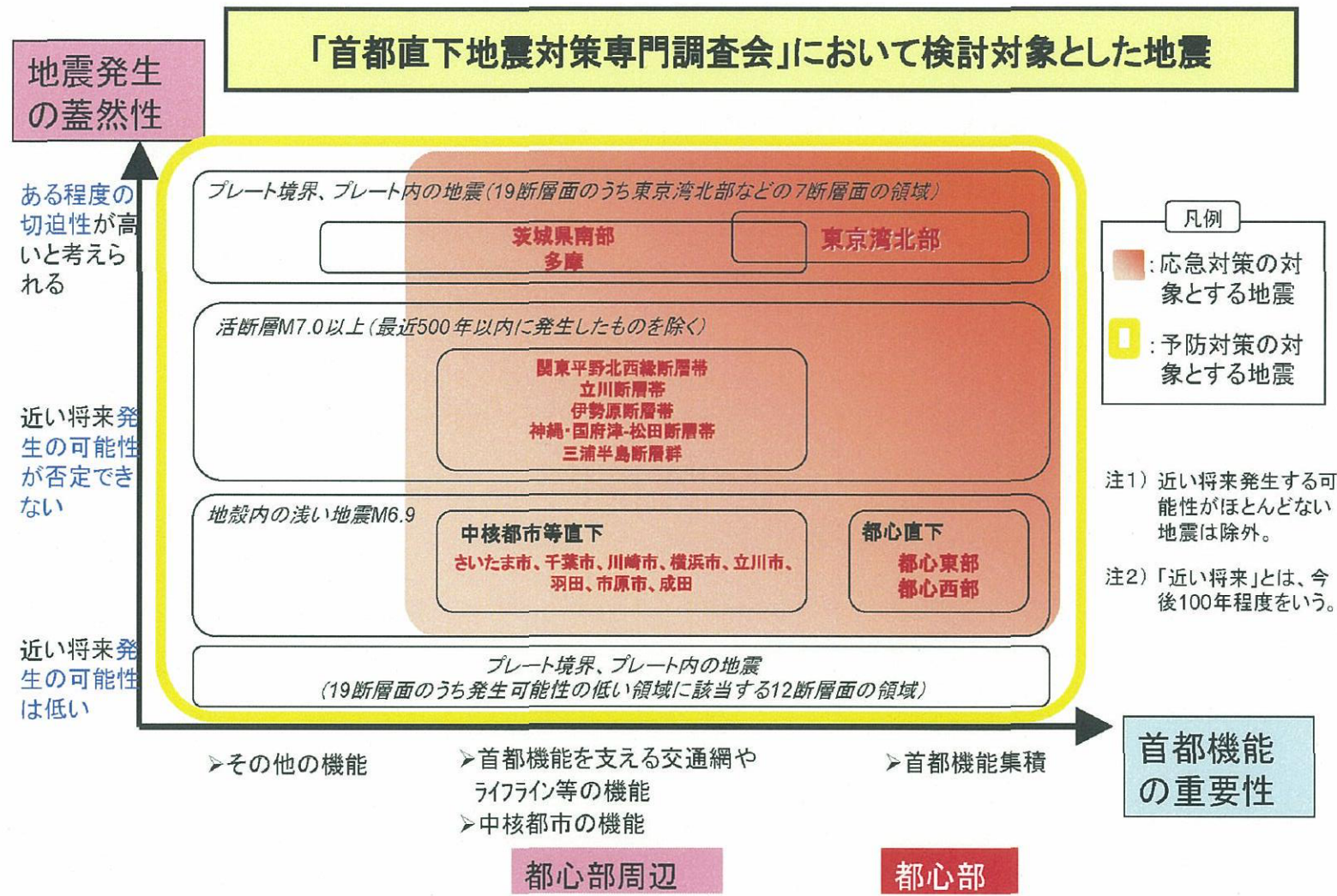


図 対象地震

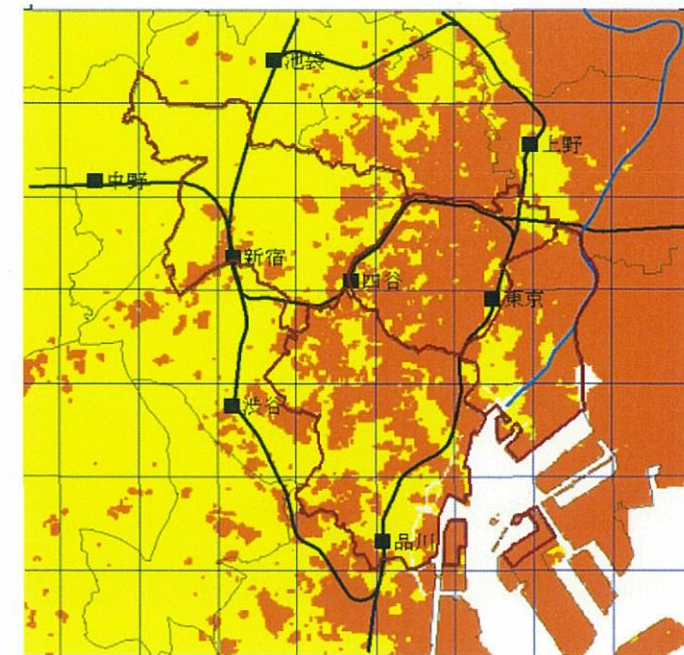
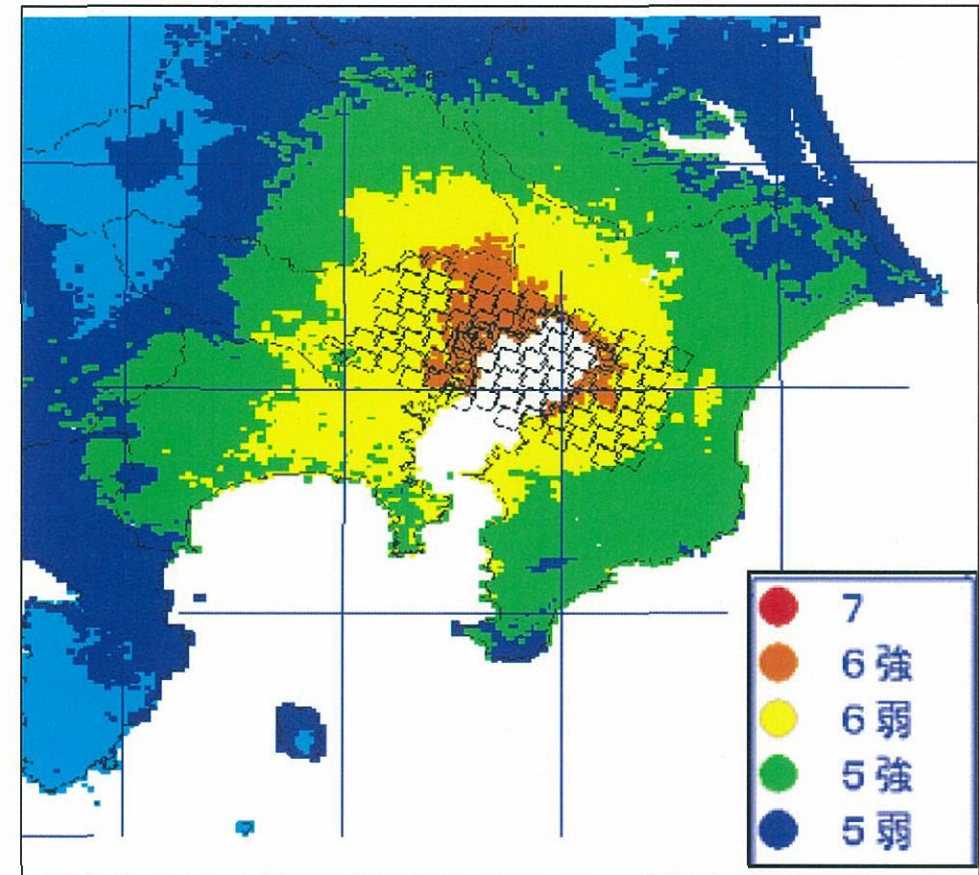


図 震度分布図(東京湾北部地震・プレート境界型)

出典) 内閣府・中央防災会議 資料

(1) 地殻内の浅い地震

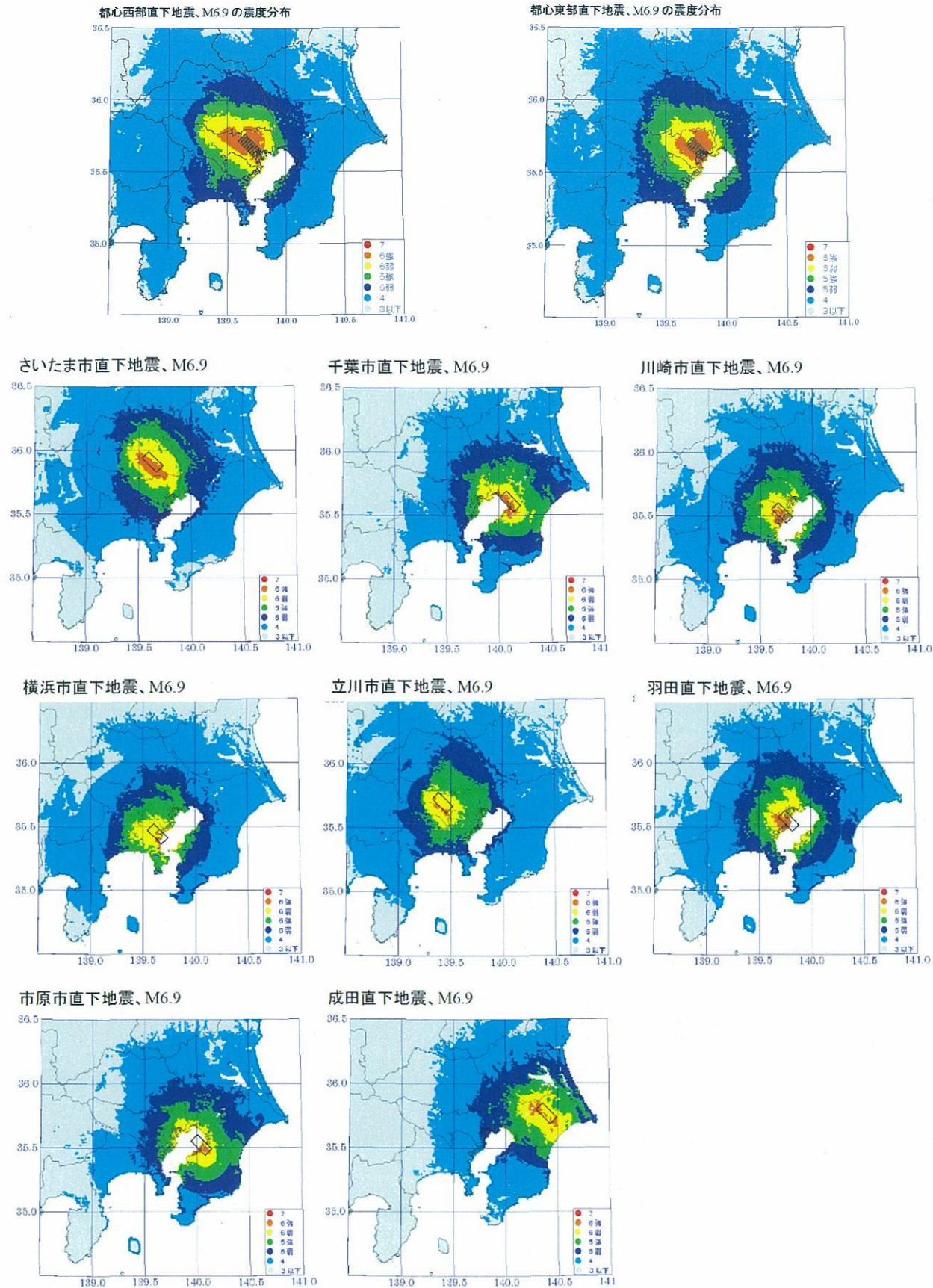
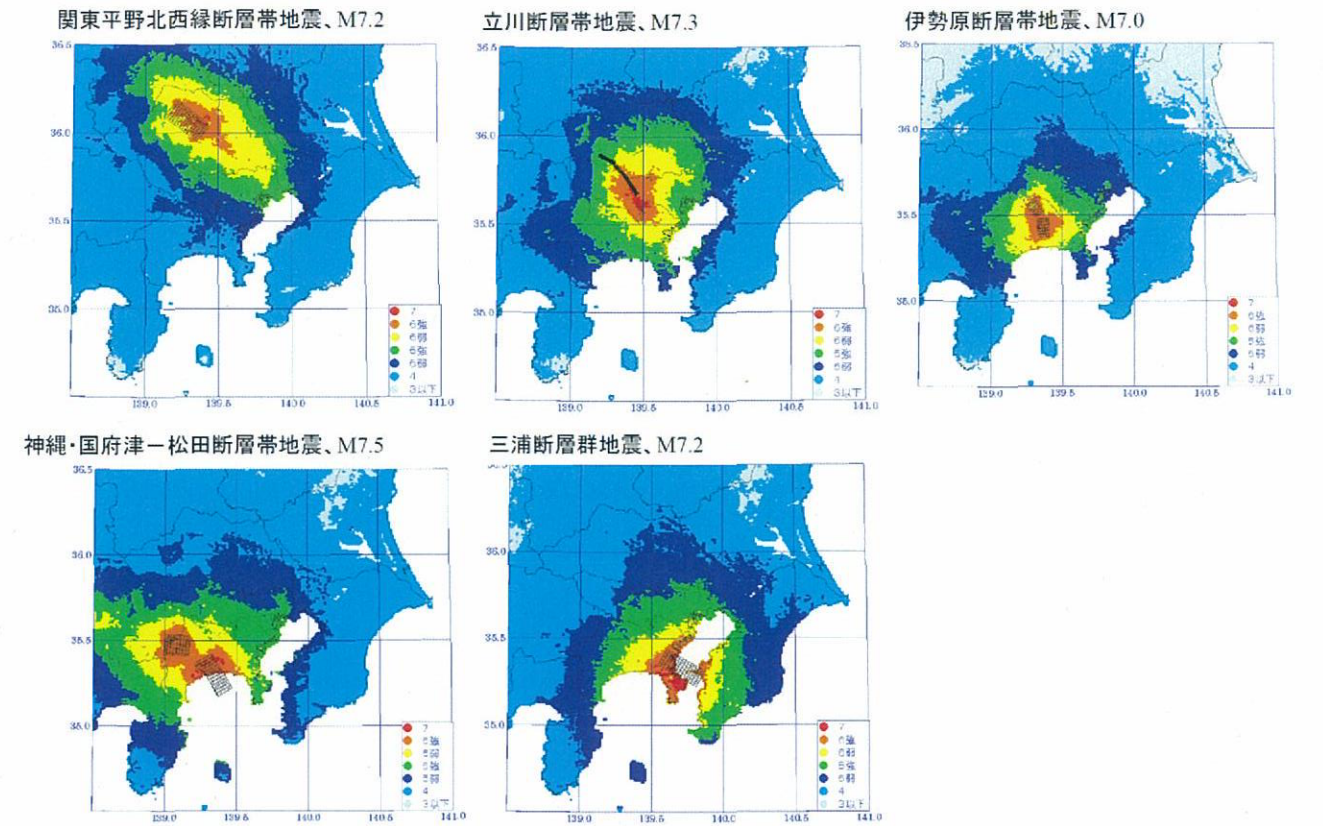


図 各震度分布図(1)

(2) 活断層 M7.0 以上



(3) フィリピン海プレートと北米プレートの境界の地震

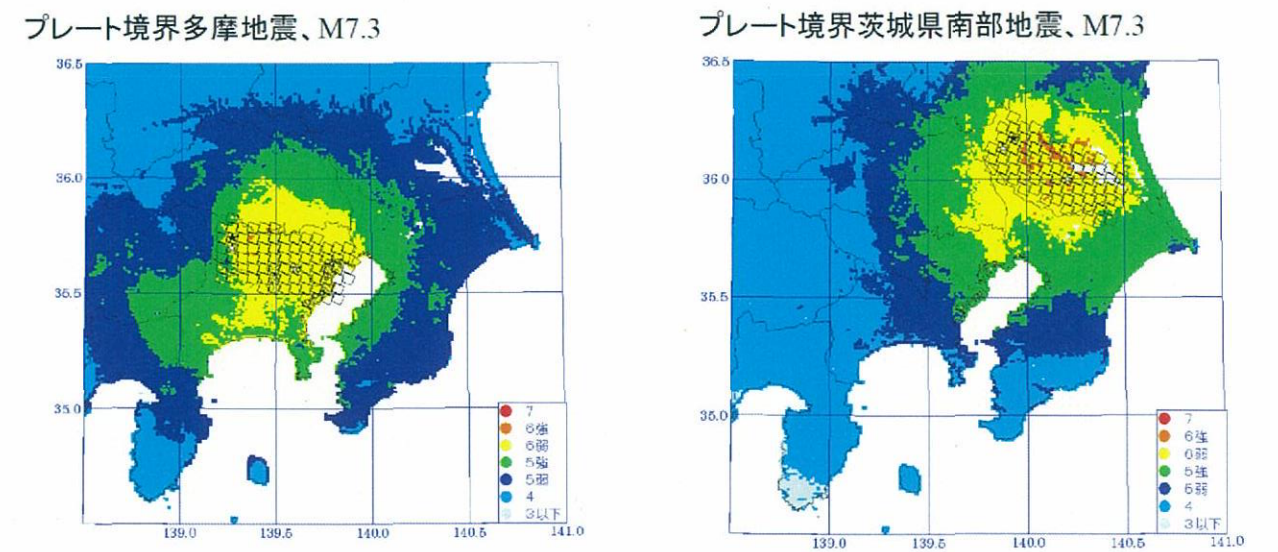


図 各震度分布図(2)

出典) 内閣府・中央防災会議 資料

1.3 東海地震

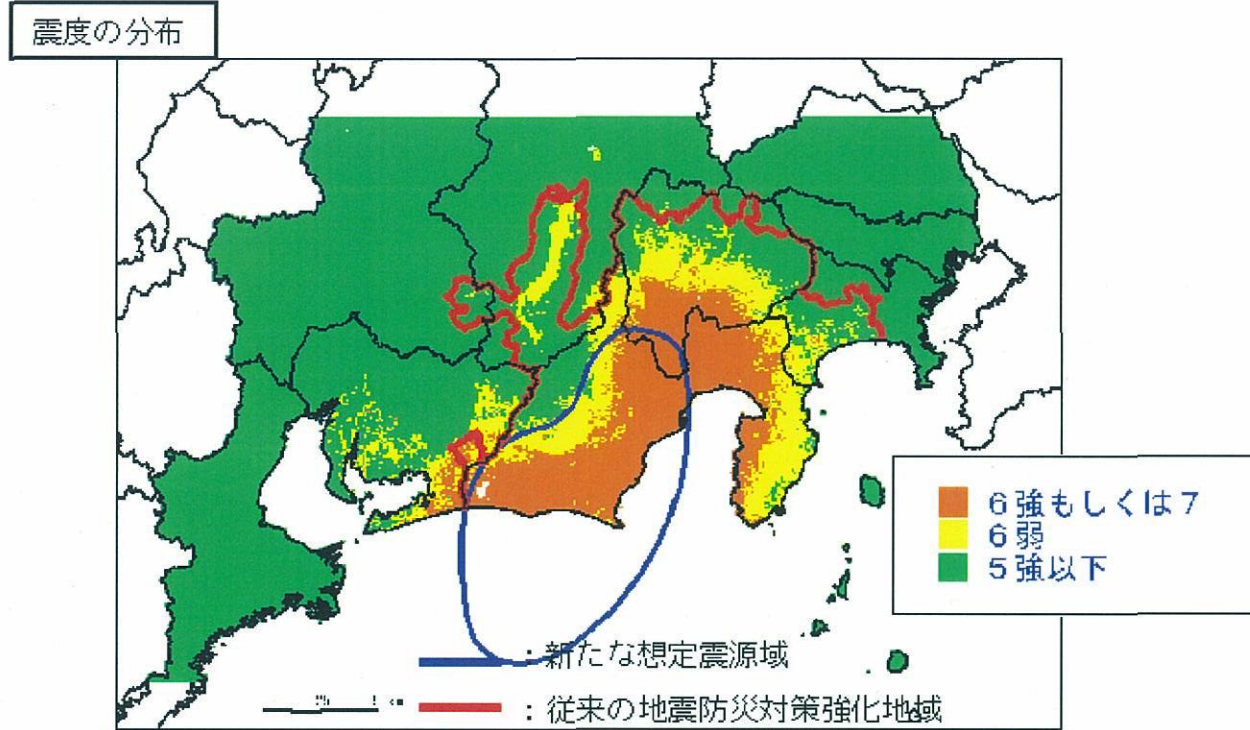


図 震度分布図

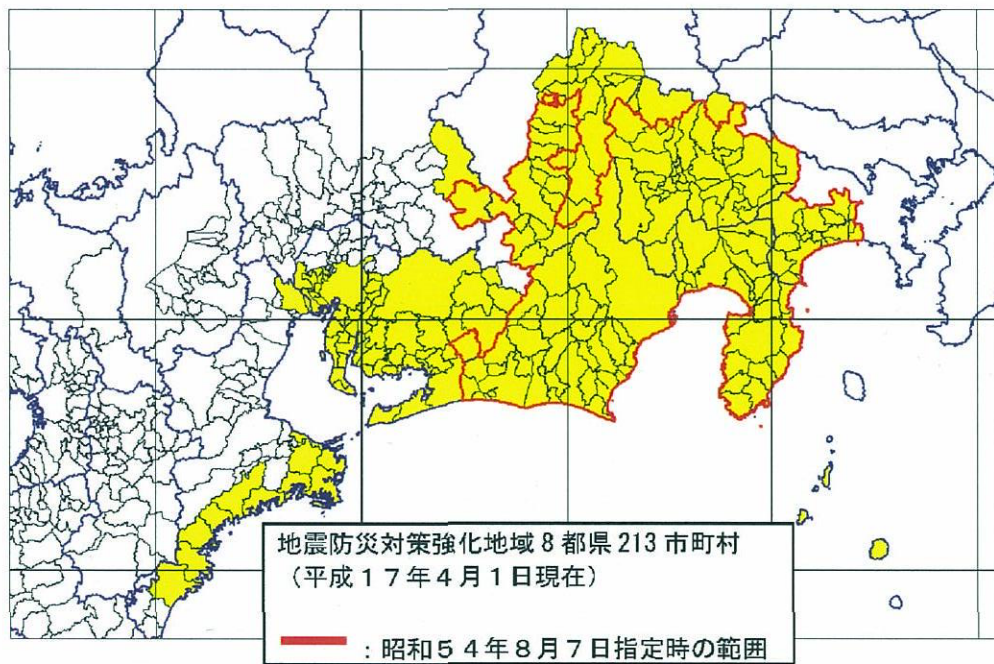


図 地震防災対策強化地域の見直し (平成 17 年 4 月 1 日現在)

出典) 内閣府・中央防災会議 資料

1.4 東南海・南海地震

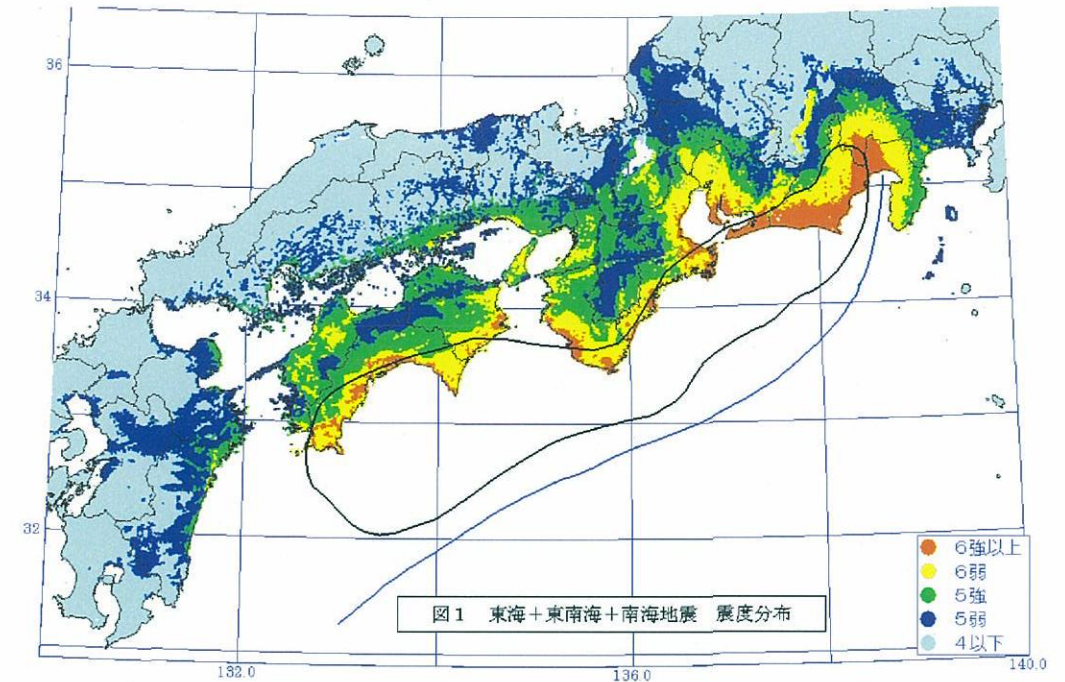
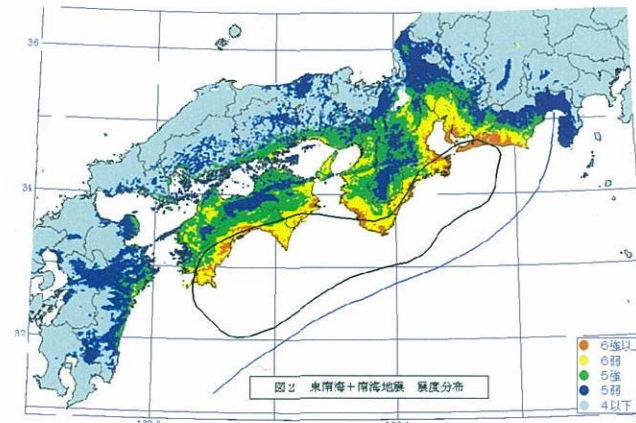
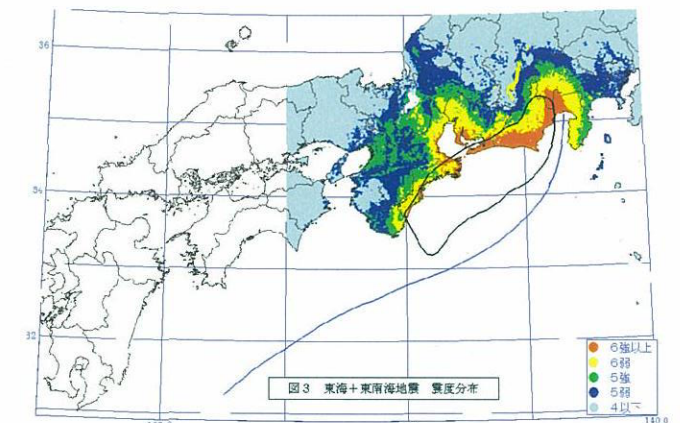


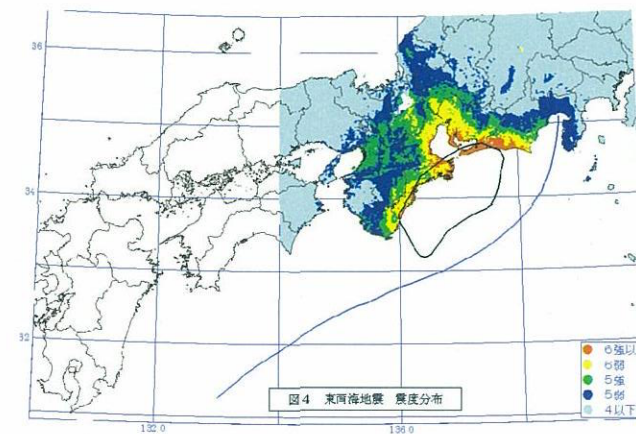
図 震度分布図 (東海+東南海+南海地震)



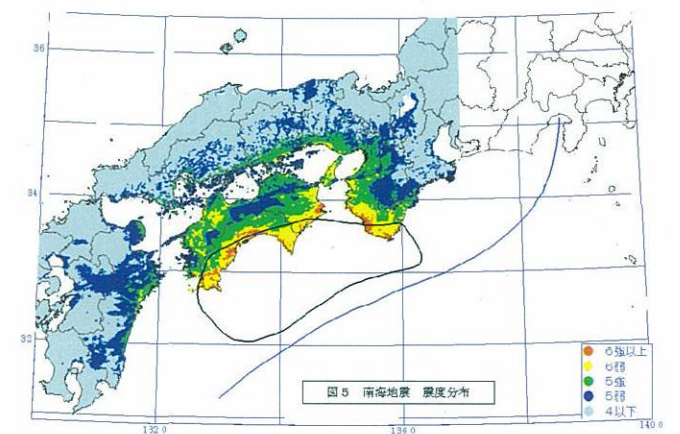
東南海+南海



東海+東南海



東南海



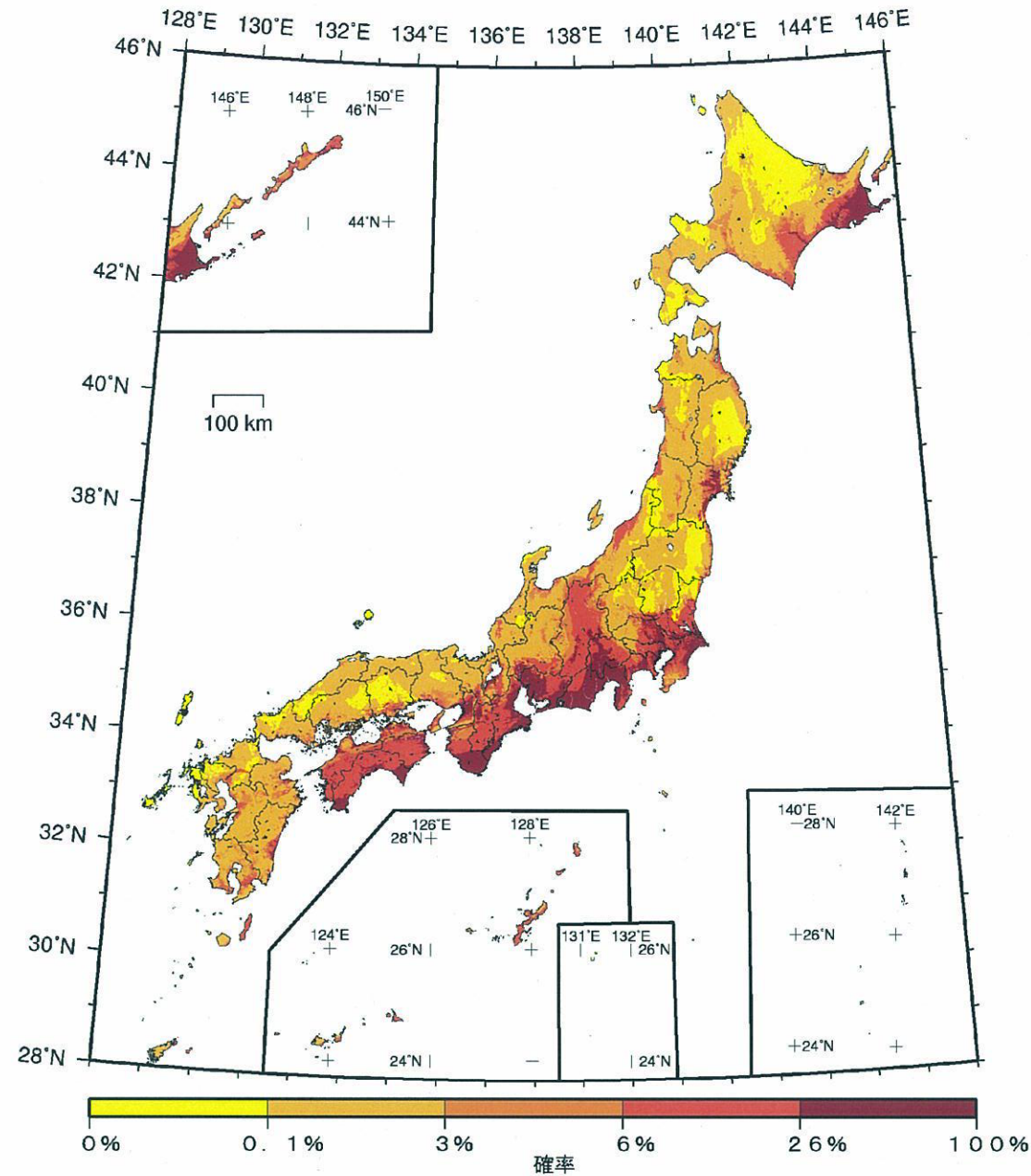
南海

図 震度分布図・各種組合せ

出典) 内閣府・中央防災会議 資料

2. 確率論的地震動予測

2.1 確率論的地震動予測地図・確率分布（全地震）



(モデル計算条件により確率ゼロのメッシュは白色表示)

確率論的地震動予測地図：確率の分布
 今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率
 (平均ケース・全地震)
 (基準日：2010年1月1日)

地震動調査研究推進本部 HP より引用

2.2 地震カテゴリー

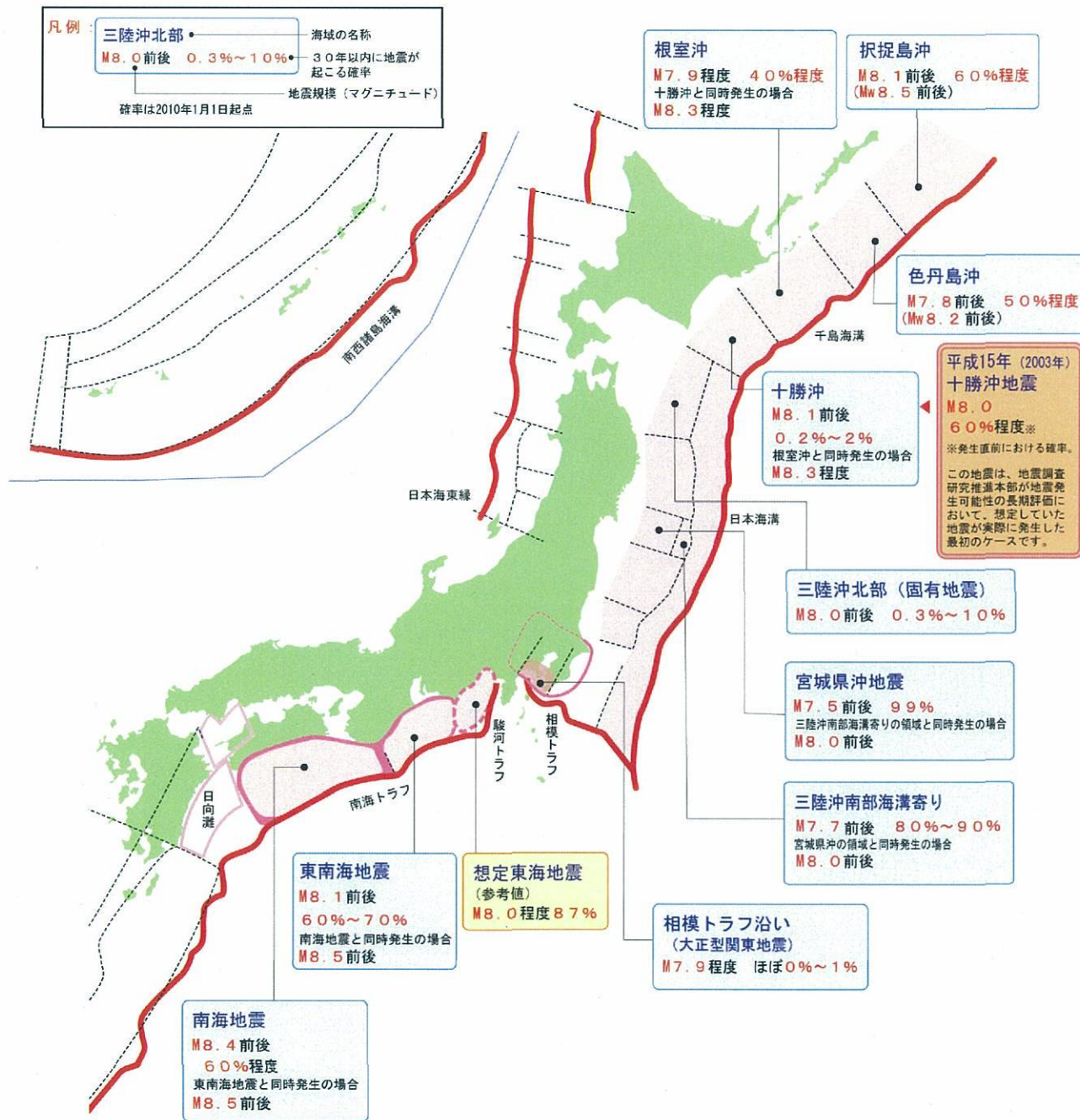
| 地震カテゴリー | |
|--|---|
| 地震動予測地図の利用・活用を前提としたわかりやすさを考慮して、多種多数の地震を次の3つのカテゴリーに分類し、それぞれに対する確率や影響度を求めて地図に示すことにより、全ての地震に対する備えに加えて地震の性格に応じた備えをも含めた利用・活用のための説明性向上を図る。 | |
| カテゴリーⅠ | 海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震 (震源断層が予め特定でき、再来間隔が数百年オーダーの地震) |
| | 南海トラフの地震(南海地震・東南海地震・想定東海地震) 宮城県沖地震 三陸沖南部海溝寄りの地震 三陸沖北部のプレート間大地震(固有地震) 十勝沖の地震 根室沖の地震 色丹島沖の地震 択捉島沖の地震 大正型関東地震 |
| カテゴリーⅡ | 海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震 (震源断層を予め特定しにくい地震のうち、プレート間地震とプレート内地震) |
| | 三陸沖北部の固有地震以外のプレート間地震 三陸沖から房総沖の海溝寄りのプレート間大地震(津波地震) 三陸沖から房総沖の海溝寄りのプレート内大地震(正断層型) 十勝沖・根室沖のひとまわり小さいプレート間地震 色丹島沖・択捉島沖のひとまわり小さいプレート間地震 千島海溝沿いの沈み込んだプレート内のやや浅い地震 千島海溝沿いの沈み込んだプレート内のやや深い地震 福島県沖の地震 茨城県沖の地震 相模トラフ沿いの地震：その他の南関東で発生するM7程度の地震 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震 日向灘のプレート間地震 日向灘のひとまわり小さいプレート間地震 与那国島周辺の地震 太平洋プレートのプレート間及びプレート内の震源を予め特定しにくい地震 フィリピン海プレートのプレート間及びプレート内の震源を予め特定しにくい地震 浦河沖の震源を予め特定しにくい地震 |
| カテゴリーⅢ | 活断層など陸域と海域の浅い地震 (再来間隔が数千年オーダーの地震、および震源断層を予め特定しにくい地震のうち、陸域と周辺海域の地震) |
| | 主要活断層帯に発生する固有地震 主要活断層帯以外の活断層に発生する地震 陸域で発生する地震のうち活断層が特定されていない場所で発生する地震 北海道北西沖の地震・北海道西方沖の地震・北海道南西沖の地震 青森県西方沖の地震・秋田県沖の地震・山形県沖の地震 新潟県北部沖の地震・佐渡島北方沖の地震 日本海東縁部の震源断層を予め特定しにくい地震 伊豆諸島以南の震源断層を予め特定しにくい地震 南西諸島付近の震源断層を予め特定しにくい地震 |

注：地震カテゴリーは、主に確率や影響度の地図(確率論的地震動予測地図)の説明性向上のために工夫され設定されたものであり、強震動の予測方法や震源断層を特定した地震動予測地図の作成方法を選定する際には、この分類に従わない場合もある。例えば、再来間隔が長いと考えられる日本海東縁部の地震は活断層と共にカテゴリーⅢに分類されているが、20世紀に発生した大地震の情報をはじめとした地域の詳細な諸情報を反映させることも可能で、個々の想定地震に関する情報の質・量に応じた方法で強震動を予測する必要がある。

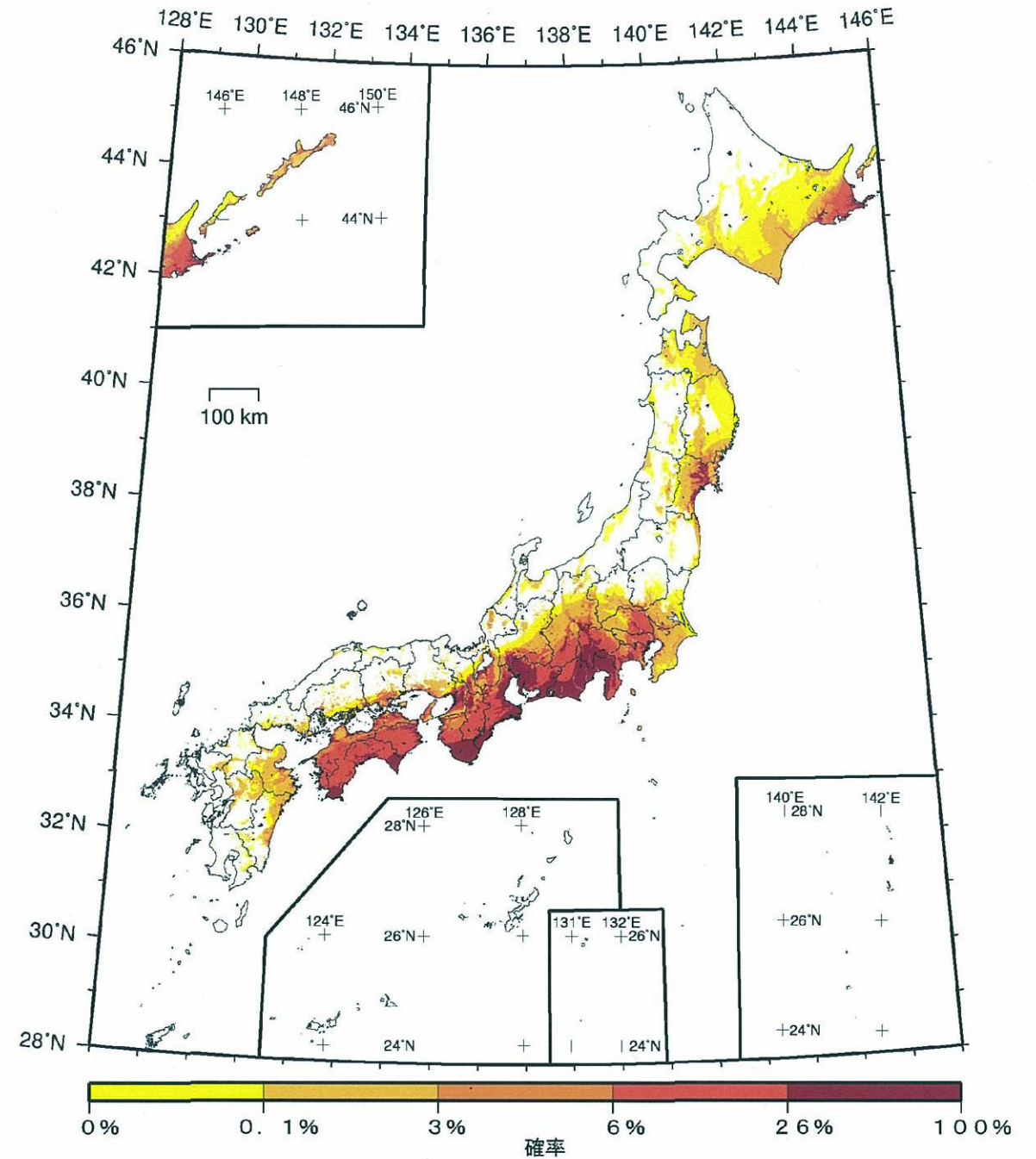
地震動調査研究推進本部 HP より引用

2.2.1 カテゴリーI

カテゴリーIの地震、すなわち、海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震（震源断層を予め特定でき、再来間隔が数百年オーダーの地震）の長期評価結果の概要を以下に示す。



地震動調査研究推進本部 HP より引用



(モデル計算条件により確率ゼロのメッシュは白色表示)

- カテゴリーI: 海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
- カテゴリーII: 海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
- カテゴリーIII: 活断層など陸域と海域の浅い地震

確率論的地震動予測地図: 確率の分布
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率
(平均ケース・カテゴリーI)
(基準日: 2010年1月1日)

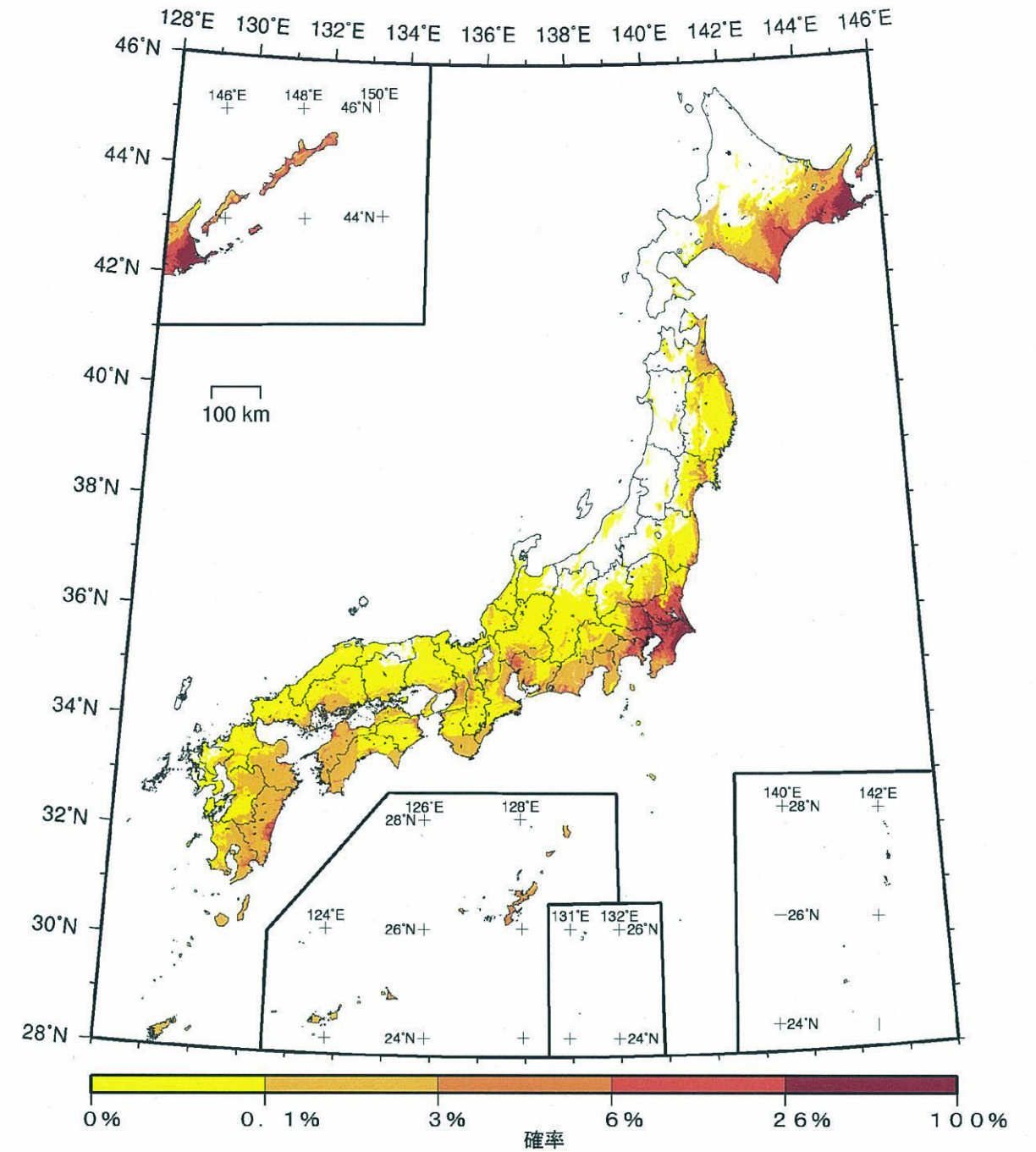
地震動調査研究推進本部 HP より引用

2.2.2 カテゴリーII

カテゴリーIIの地震、すなわち、海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震（震源断層を予め特定しにくい地震のうち、プレート間地震とプレート内地震）の長期評価結果の概要を以下に示す。



地震動調査研究推進本部 HP より引用



(モデル計算条件により確率ゼロのメッシュは白色表示)

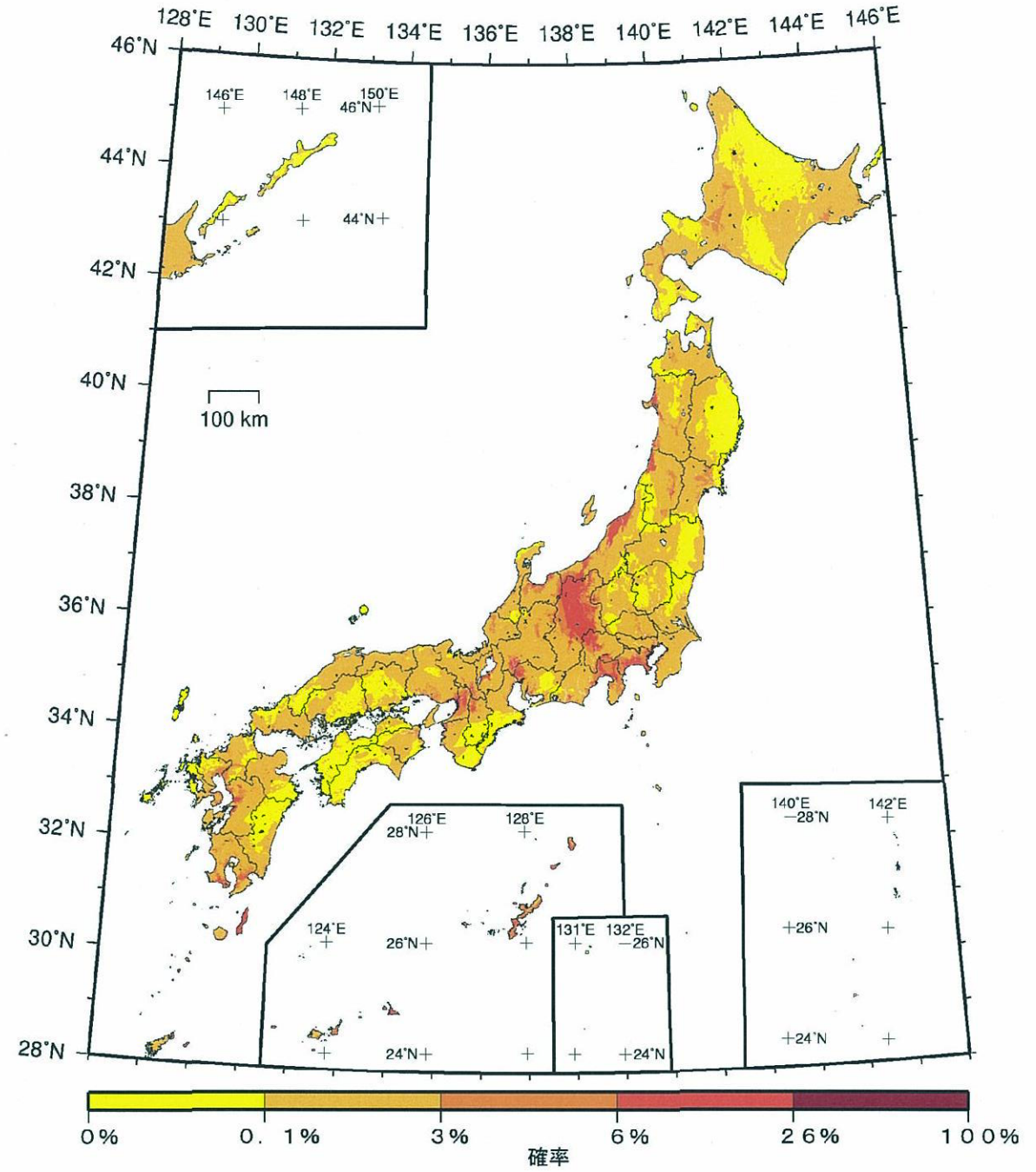
- カテゴリーI: 海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
- カテゴリーII: 海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
- カテゴリーIII: 活断層など陸域と海域の浅い地震

確率論的地震動予測地図：確率の分布
 今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率
 (平均ケース・カテゴリーII)
 (基準日：2010年1月1日)

地震動調査研究推進本部 HP より引用

2.2.3 カテゴリーIII

カテゴリーIIIの地震、すなわち、活断層など陸域と海域の浅い地震（再来間隔が数千年オーダーの地震、および、震源断層を予め特定しにくい地震のうち、陸域と周辺海域の地震）の長期評価結果の概要を以下に示す。



確率論的地震動予測地図：確率の分布
 今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率
 （平均ケース・カテゴリーIII）
 （基準日：2010年1月1日）